

国際化時代における我が国園芸農業のサバイバル戦略

平成 6 年度駐村研究員会議は平成 7 年 2 月 3 日に標記のテーマで開催された。今回の駐村研究員会議の報告テーマ及び報告者は以下のとおりである。

(1) りんごの国際化について

野口 茂和（長野県茅野市，リンゴ園経営）

(2) 鳥取県の園芸及び梨栽培の現状と将来

足立 康一（鳥取県赤碕町，梨園経営）

(3) 園芸農業サバイバル戦略 ― みかん農業を中心として ―

井上 忠淳（福岡県甘木市，福岡園芸連職員）

座長として会議の司会進行は，経済政策部の藤島廣二流通研究室長と小口千賀子消費研究室主任研究官の 2 人が担当した。3 人の報告の後，質疑応答及び討論が活発に行われた。なお，この会議には，報告者以外の駐村研究員や関係の行政部局，関係機関等外からの参加をいただいた（稿末の参加者名簿参照）。

以下は，その報告，質疑応答及び討論の記録であり，報告者をはじめ関係者のご協力を得て研究交流科で整理したものである。